

## 平成30年度地域中核企業創出・支援事業本年も受託

地域中核企業創出・支援事業は平成28年度から始まり、本年度で第3年度になります。一方平成29年6月2日に公布された地域未来投資促進法は、地域が自律的に発展していくため、地域の強みを生かしながら、将来成長が期待できる分野での需要を域内に取り組みることによって、地域の成長発展の基盤を整えることを目指す。そして当面3年で2,000社程度を支援し、1兆円の投資拡大、GDP5兆円の押上げを目指す。と謳われています。

これにより事業分野も従来からの①成長ものづくり分野(医療機器、航空機部品、新素材等)に加え、②農林水産、地域商社、③第4次産業革命(IoT、AI、ビッグデータ活用)、④観光・スポーツ・文化・まちづくり関連、⑤環境・エネルギー分野、⑥ヘルスケア・教育サービス等と拡大されています。市町村及び都道府県は上記の分野で基本計画を作成し、国が同意した計画が、公表され平成30年3月には185件の同意された計画が発表されています。地域中核企業創出・支援事業もこの法律との関係が強化され、分野、市町村及び都道府県の基本計画とのつながりがより一層必要となってきています。

また平成29年12月22日に経済産業省は、地域経済牽引事業の担い手の候補となる地域の中核企業として「地域未来牽引企業」を2,148社選定されました。選定された「地域未来牽引企業」は、地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域の事業者等に対する経済的波及効果を及ぼすことにより地域の経済成長を力強く牽引する事業を更に積極的に展開されること、または、今後取り組まれることが期待される企業と定義されています。

NPOでは平成30年度の地域中核企業創出・支援事業で、上記の要件を満たすべく努力し応募いたしました。その結果5月16日の採択結果の公表で、以下の3件のハンズオン事業を受託することができました。

関東経済産業局 : アルミ・鉄鋳物の新規市場開拓とグループ連携による一貫生産体制の構築

近畿経済産業局 : ”中小製造業における切削加工プロセスのIoTソリューションビジネス”  
構築支援事業

中国経済産業局 : 健康保持・福祉・医療分野向け筋力アシスト装具事業の育成・強化

NPOでは、成果目標を明確にし、その達成に向け、組織を挙げて全力を尽くします。